TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

その子をイエスと名付けなさい

マタイによる福音書 1:18-25



2023 年 12 月 23 日 & 24 日

余沢 武 牧師

I. はじめに

メリークリスマス！

2000 年前のある静かな夜、一人の子が生まれました。その子の誕生日は、人類の歴史上、最も多くの人に祝われる日となりました。

今でも毎年世界中で最も祝われている誕生日、それは今年も同様で、西暦（AD）2023 年「アンノドミニ（Anno Domini）」または「主の年」2023、すなわち「イエスが誕生してから 2023 年目」なのです。しかしそれは何故でしょうか？今日はそのことについて分かち合いたいと思います。まずお祈りしましょう。

II. イエスと名付けなさい

(1) 聖霊によって

マタイによる福音書 1:18－19 を開きましょう。このように書いてあります。「[18] イエス・キリストの誕生の次第はこうであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが分かった。[19] 夫ヨセフは正しい人であったので、マリアのことを表沙汰にするのを望まず、ひそかに離縁しようと決心した。」

聖書によると、イエスの母親であるマリアはヨセフと婚約していました。その当時は、結婚するには 1 年程かかる一連の手続きが必要でした。

まず、花婿またはその家族が花嫁の父親に持参金を支払います。すると、二人は婚約した夫と妻とみなされます。この婚約関係を破棄するには、法的な離縁が要求されます。

次に、花婿は自身の父親の家に帰り、結婚のために部屋を準備します。



1 年ほど経過した後、花婿は花嫁を迎えに行き、父親の家に連れて帰り結婚式を挙げます。それから二人は身体的に親しい関係を持ち、一緒に暮らします。

しかし、ここに問題が生じました。マリアはヨセフと婚約しており、まだ自分の父親の家に住み、身体的に親密な関係は一切持っていなかったにも関わらず、妊娠していたのです。そのためヨセフは、マリアが姦淫の罪を犯したと推測しました。旧約聖書のユダヤ教の律法によれば、マリアは石打による死刑に処されることとなり、それは自動的な離縁を意味します。

しかしローマ政府はユダヤ教の死刑制度を撤廃していたため、ヨセフはマリアを裁判所で告発し、離縁する必要がありました。けれどもヨセフはマリアとひそかに離縁したいと考えていました。

そしてあることが起こりました。20 節「[20] このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。『ダビデの子ヨセフ、恐れずマリアを妻に迎えなさい。マリアに宿った子は聖霊の働きによるのである。』」

天使がヨセフのことを「ダビデの子」と呼んでいることに注目してください。「救いの王」が来ることがダビデを通して預言され、ヨセフがそのダビデ王の子孫であることを強調しているのです。天使は「マリアを妻に迎えなさい」なぜならその子は「聖霊」、すなわち神の働きによるものだと言いました。

「神」とは、モーセに「わたしはある」または「わたしはいつもここにいる」、「わたしはいつも存在する」という意味のヘブル語「ヤハウェ」という名前であることを伝えた神です。

紅海を二つに分けてイスラエルの民を救い出し、また、ノアを洪水から救った神です。
全てのものを創造し、「光あれ」と命じ、光を創り出した神が、マリアの内に新しい命を創ったのです。

(2)イエスと名付けなさい

天使は続けます。21節「[21]マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。」

天使は、男の子を「イエス」と名付けるように言いました。「イエス」とはヘブル語の名前「イェシュア」のギリシャ語訳で、神の御名「ヤハウェ」の短縮形である「ヤ」と「救う」という意味の「ヤシャア」から来る「シュア」の合成語です。「イエス」は「ヤハウェは救う」という意味です。

この名前によると、この子を通して「ヤハウェ」つまり神が民を罪から救うのです。このことについて説明します。

聖書は、初めに神が存在したと言っています。神の名は「わたしはある」または「ヤハウェ」でした。この神は「完全な愛」の神です。神は全てのものを創造しました。神は人間を御自分のかたちに創造しました。

「かたち」とは実は「影」を意味します。私たち人間は目に見えない神の目に見える「影」として、神を信頼し神の言葉に従うことで神の完全な愛、ご性質、知恵を現し、神の創造された全てのものを慈しむために、創造されました。

神は最初の人間、アダムとエバをエデンの園に置きました。彼らは何を取って食べてもよいが、善悪の知識の木の実だけは食べてはならない、食べると死んでしまうと命じられていました。そして彼らは神を信頼し、神の言葉に従いました。

しかし、サタンが蛇として現れ尋ねました「神はそう言ったのか？神を信頼してはならない。食べろ、そうすれば神のように賢くなるのだ。」すると初めて、アダムとエバは神を信頼しないことに決めて、木の実を食べてしまいました。

神の愛、ご性質、知恵を現すために創造された人間が、神の言葉にそむいてしまいました。これを「罪」といいます。人間は「神のかたち」を反映する「影」ではなくなってしまいました。

しかし、私たち人間は「愛ある神」の「かたち」に創造されたため、「愛」が、私たちが持っている最も尊い特性であり性質であることを知っています。どの国、民族、宗教の人に聞いても、人間にとって愛が最も尊い特性、性質であることに賛成するでしょう。

けれども、私たちが神の完全な愛を反映しなくなってしまったため、私たちが持っているのは不完全な愛だけです。私たちは人生において数少ない愛したい人たち、両親、子供、妻、夫などでさえ、愛せずに、代わりに彼らを傷つけてしまいます。彼らと争います。彼らを破壊までしてしまうかもしれません。

世界中に戦争が起きているのも驚きではありません。神の創造されたものをその完全な愛で慈しむ代わりに、神の創造されたものを破壊して、私たちは神の敵となりました。そのため、聖書には「罪の支払う報酬は死」と書かれています。神は世界を救うために私たちを殺す必要があるのです。

しかし、完全な愛なる神がどのように私たちを罰し、殺すことができるのでしょうか。神は次のような方法をとりました。神は人間の体を使い、私たち人間のもとに生まれたのです。マリアが聖霊によって身ごもったのはそのためです。そして「ヤハウェは救う」という意味のイエスという名の赤子が生まれたのです。



イエスは、私たちがどのように生きるべきかを見せるため、人間として完全な人生を生きました。

イエスは私たちの罪をその身に負ってくださり、私たちの罪の罰を十字架上で受けてくださいました。

今、その十字架を見るとき、私たちには見えるのです。

私たちがどんなに罪深いか…私たちは罰に値することがわかります。

神の完全な愛がどんなものであるか…自分の敵のために死ぬという愛。この愛は私たちが神のかたちに創られたときに持つはずだった愛であり、私たちには無い愛です。私たちがこのような愛を持っていれば、家庭や世界で争いはなくなるはずです。

もし私たちが神の愛を受け入れるのならば、こう言います。「十字架上で愛なる神の上に罰せられたのは私の罪です。」そして「これからは、私はアダムとエバが行わなかったことを行います。私は神の御言葉を信頼し従います。神の愛、ご性質、知恵を現すことができるように。」これで、私たちは赦されます。

(3)私たちと共におられる神

それだけではありません。22－25 節「**[22] このすべてのことが起こったのは、主が預言者を通して言われたことが実現するためであった。[23]『見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。』これは、『神は私たちと共におられる』という意味である。[24] ヨセフは目覚めて起きると、主の天使が命じたとおり、マリアを妻に迎えた。[25] しかし、男の子が生まれるまで彼女を知ることはなかった。そして、その子をイエスと名付けた。**」

紀元前 735 年の預言者イザヤの預言によると、この赤子は私たちの救い主であるだけでなく、私たちと共におられる神、という意味の「インマヌエル」と呼ばれるだろうとのことでした。

私たちがイエスを受け入れるとき、私たちは赦されるのは素晴らしいことですが、しかし、まだ私たちには神の完全な愛、ご性質、知恵はありません。だからこそ、イエスはインマヌエル、私たちと共におられる神でもあるのです。

私たちがイエスを受け入れるとき、イエスの聖霊が私たちの内に宿り、そして私たちが神の愛、ご性質、知恵を身につけることを助けてくれます。

以前、あるクリスチャンの男性がこのように話してくれました。以前の彼は非常に短気だったそうです。しかしイエスを救い主として受け入れた時から、彼は変わったといいます。すぐに気分を害することがなくなったのです。

まあ、全てのクリスチャンがこのようである訳ではありません。私と私の妻はクリスチャンでありながらも、以前は常に感情的になり言い争いばかりしていました。私が説教をした後、特に愛についてのメッセージの後、家に帰ると、妻は私のことを「偽善者」と呼びました。彼女は正しかったのです。

私は自分のことが大嫌いでした。自分がもっと愛情深く、柔和だったら良いのにと思いました。けれども私はそうではありませんでした。彼女に言われた時、私ができることは、部屋に入り、ひざまずいて祈ることだけでした。私は神に、どうすればよいのか分かりません、と言いました。私には助けが必要でした。そして、神が望むような夫に変えてくださいとお願いしました。

数ヶ月後のある日、美樹が私に対して腹を立てたとき、感情的になる代わりに、私自身は冷静に、どのように応えるべきかを神に聞いていました。そして、実際私は穏やかに返答しました。私は変えられたのです。そして彼女も変えられました。どのようにしてでしょうか？イエス、インマヌエル、私たちと共におられる神によってです。

不品行と格闘するクリスチャンを知っています。彼らは自分のことが大嫌いでしたが、自分自身を変

えることができませんでした。私は同様のことをするようにと助言しました。毎日神の御言葉を読むことに集中し、自分を変えてくださいと助け求めるのです。

しばらくした後、彼らは解放されました。どのようにしてでしょうか。イエスです。インマヌエル、私たちと共にいる神によってです。

あの聖なる夜、贈り物が与えられました。一人の子が生まれました。救い主が来られました。彼こそイエスです。インマヌエル、私たちと共におられる神です。彼は私たちを救い、私たちを変え、そして私たちに命を与えるために来られました。私たちがクリスマスをお祝いするのはこのためです。

もしまだあなたがイエスを救い主として受け入れていないのであれば、今日、そうされるようお招きします。イエスに救っていただき、あなたの罪から解放していただき、そしてイエスから新しい命…永遠の命を受け取ってください。

メリークリスマス！

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201



キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg5223jp

★クラス 301
自分の賜物発見クラス
1月 28 日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件: クラス 101&201 を修了した方

★クラス 401
人生の使命を発見する
2 月 18 日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件: クラス 301 まで修了した TBC 教会員

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu